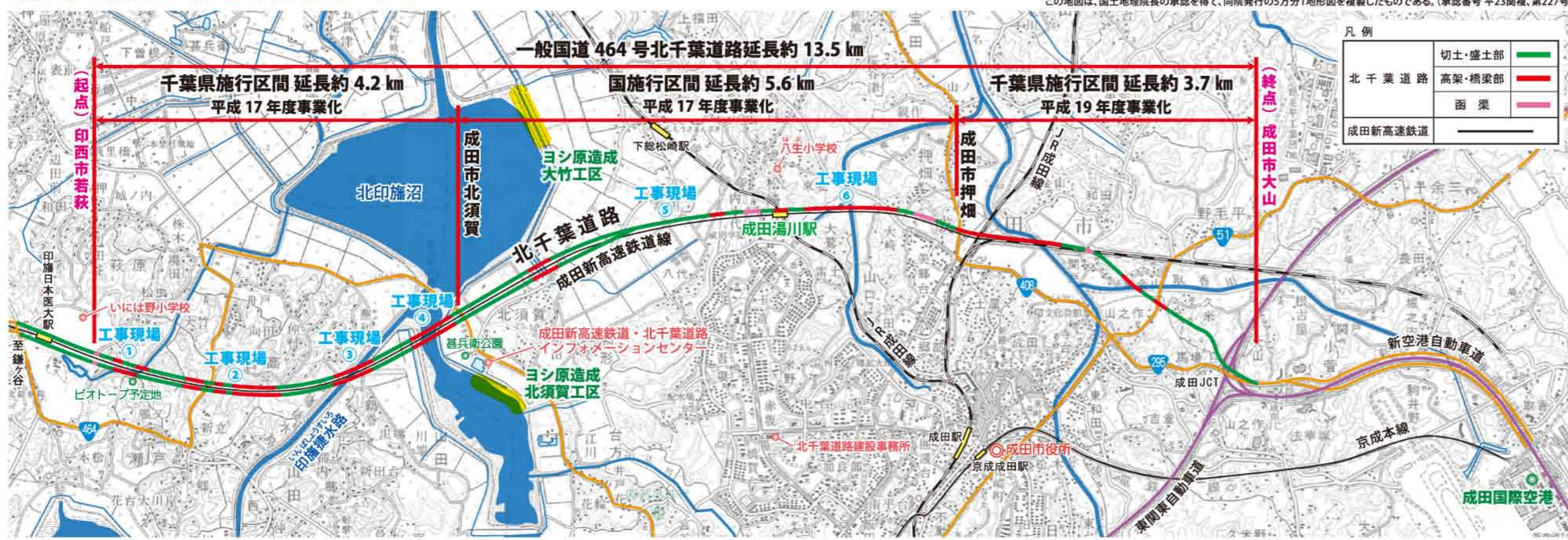


# 北千葉道路事業化区間ルートマップ



北千葉道路を建設している区間は、出来るだけ現在の地形や環境を残すために橋の部分が多くなっています。橋を建設する工法は、つくる場所の条件を考えて適した方法が選ばれています。

橋を支える「橋脚」の上に橋の骨格となる「桁」を架ける方法は、鉄製の桁をクレーンで吊り上げて載せていく方法や、現場で組まれた桁を橋脚の上を滑らせながら送り出す方法などがあります。

### 工事現場① クレーン架設

連結する桁をクレーンで移動

連結作業(桁を据え付けているところ)

橋脚に載った桁

### 工事現場② 送り出し架設

①橋桁は、約90秒で1m送り出されます。

ガイド約50m 橋桁70m

送り出し

②ガイドを解体し、橋桁を橋台に降下し、セットします。

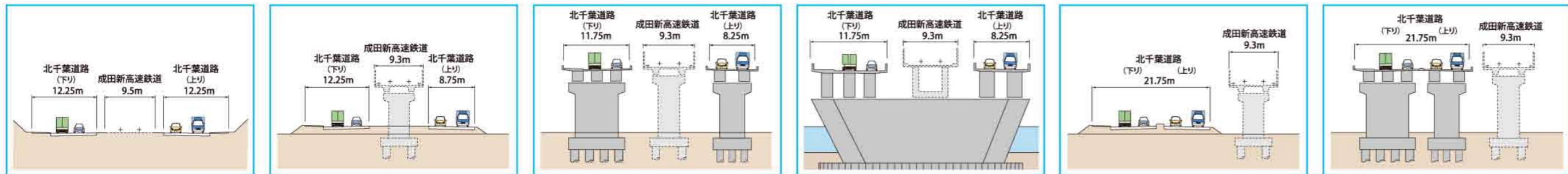
降下 橋台

## 進む建設工事

すすむけんせつこうじ

一般国道464号北千葉道路は、常磐自動車道と東関東自動車道(水戸線)のほぼ中間に位置し、千葉県北西部の東葛地域から千葉ニュータウンを経て成田市を結ぶ全長約43kmの幹線道路です。

現在、建設工事が進む事業化区間の約13.5kmは、起点の印西市若萩から成田市北須賀間の約4.2kmを千葉県が、成田市北須賀から成田市押畑間の約5.6kmを国が、そして、成田市押畑から終点の成田市大山間の約3.7kmを千葉県がそれぞれ施行します。このうち、印西市側より8.4kmについては、平成28年度の部分供用を目指しています。



## 建設工事の様子

### 北千葉道路の整備効果

東葛地域と成田国際空港のアクセス向上

東葛地域(松戸市・柏市周辺)から成田地域への移動時間が大幅に短縮

柏市~成田国際空港の所要時間  
120分(現況) → 90分(整備後)

**30分短縮!**

出典: 成田国際空港(株)ホームページ

### 地域の活性化

北千葉道路が通る千葉ニュータウンでは、沿線に大規模の商業施設等が増え、北千葉道路の整備が地域の活性化を促している要因の一つとなっています。

印西市中央南付近空中写真

印西市西の原付近空中写真

### 成田スカイアクセス

成田スカイアクセスは、地元調整、工期短縮、工事費低減、自然環境配慮等の取組みが評価され、平成22年10月に「第9回 日本鉄道賞」を受賞しました。この賞は、列車運行を行う京成電鉄(株)、鉄道整備を行った(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構と成田高速鉄道アクセス(株)との連名で受賞しました。



- ### ~北千葉道路の主な効果~
- ① 地域の活性化
  - ② 交通処理能力の向上・成田市街地の交通円滑化
  - ③ 広域道路ネットワークの強化・物流の効率化
  - ④ 救急医療・防災機能の強化

起点部 印西市若萩付近(平成24年3月)